

○ 関市自治基本条例の検証について（前回の課題等）

1 現在想定されている「市を応援する人」の規模はどれくらいか

「市を応援する人」としての想定はしておりませんが、市が昨年7月に開設したせきファンクラブについては、令和8年1月30日時点で、390人の会員登録があるとのこと。なお、今年度の目標値（KPI）としては300人の会員登録とのことでしたので、目標を上回っている状況です。

2 総務省が推進する「ふるさと住民登録制度」や「関係人口」について、明確な定義はあるか

総務省が推進する「ふるさと住民登録制度」とは、関係人口の規模や地域との関係を可視化し、地域の担い手確保や活性化に繋げることを目的とした登録制度で、各種情報提供や行政手続きの円滑化をはじめ、地域での活動に役立つ官民の様々なサポートが受けられる仕組みを想定しております。

また、「関係人口」とは、総務省のホームページ上では、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々との多様に関わる人々のことを指しており、地域外の人材として、地域づくりの担い手となることが期待されております。

（※【参考3】各種参考を参照）